

平田ロータリークラブ 週報

発行日 毎週木曜日

平成18年 7月13日

No.1571

率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド
第2690地区ガバナー 新宮 彦助

△事務局▽
島根県出雲市平田町2280-1
平田商工会議所2F TEL 0853-63-3232
FAX 0853-63-5365
A.M. 9:00 ~ P.M. 5:00 土・日曜・祝祭日休局

会長 加藤喜久 副会長 田中久雄
幹事 荒木 貫 会計 金田卓也

例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第1571回(7/13)	各委員長	クラブ協議会(今年度運営方針発表)
第1572回(7/20)	会員 田中浩史	アナログオーディオの魅力
第1573回(7/27)	前年度会計 加藤 昇・今年度会計 金田卓也	総会(前年度決算・本年度予算)

出席報告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前 回 補 正 率
49	38	11 (1)	76.74	——

欠 席 者 加藤昇・持田・園・園山・大島卓・吾郷・西谷・堀江・金田・三代(杉原)

幹事報告

1. ひらたCATV(株)より一周年記念式典出席のお礼状をいただきました。
2. 地区大会のご案内

日 時 10/28(土) 29(日) 9:00~10:00 受付 10:00~開会

場 所 米子コンベンションセンター(本会議) 米子産業体育館(懇親会)

詳細は本日配布致しました「地区大会のご案内」をご覧ください。

本日出欠表をお回ししております。

委員会報告

- <出 席> 2005~2006年度皆出席者表彰 100%出席者20名(内ホームクラブ100%出席者1名)
- <社会奉仕> 7/29開催ひらたまつり協賛献血運動へ協力をお願い。
- <R財団> 7/29開催ひらたまつり協賛バザー関係の委員会開催のご案内。

7月27日例会受付当番

金田卓也・堀江卓男・飯塚大幸

★松江南クラブ(月) 7/31

★出雲中央クラブ(月)

★松江しんじ湖(火) 7/18

★出雲クラブ(火) 7/18

★松江クラブ(水)

★大社クラブ(水) 7/26

★平田RAC(第1・3水)

★松江東クラブ(木)

★出雲南クラブ(金)

今年も平田天満宮の祭礼が近づいてあちこちの町内で一式飾りの制作が進められているこの頃です。私の町内でも毎晩10人位集まって賑やかに創っています。毎晩8時頃になりますと平田高校の生徒達が自転車で次々と前を通って家路を急いでいます。多分部活を終えた野球部などの生徒達と思いますが、その時みんなが大きな声で「こんばんは」と私たちに声をかけてくれます。今、子供たちの様々な問題が色々といわれている日本の社会ですがこの生徒達を見るとそんな心配も吹っ飛びとてもうれしく思います。普段自転車で乗っている時見知らぬ小学生や中学生からも挨拶をされることが時々あります。こちらから先に声をかけない自分が恥ずかしく思います。いつまでもこんなさわやかな平田の町が続いてほしいと願っています。

余談ですが「こんにちは」を韓国語で「アンニョンハセヨ」というそうですがこのアンニョンは漢字の「安寧」（やすらかなこと）が語源だそうです。日本では「ごきげんよう」といった感じでとても上品な言葉使用だと思います。また「ありがとう」は「カムサハムニダ」でカムサは「感謝」……。もともと韓国も文字は漢字だったから当然です。今、日韓中間は政治的にいろいろといがみ合っていますが、お隣同士また同じ漢字を使っていたという文化的に非常につながりの深い国同士、もっとうまくいってほしいと思います。

ロータリー情報

「四大奉仕」

ロータリー情報委員会

「四大奉仕」とは、ロータリーの目的の4つの要素、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕を指しています。「クラブ奉仕」：ロータリーの第1奉仕部門。ロータリアンが、クラブを円滑に機能させるためにクラブ内で講じる措置に関するもので、出席、職業分類、クラブ会報、親睦活動、雑誌、会員選考、会員増強、プログラム、広報、ロータリー情報などがあります。例会を始めとするロータリーの会合への出席奨励、会員の職業分類の整備、クラブ会報刊行、親睦事業や例会のプログラム設定、ロータリーの雑誌についての案内、会員増強、ロータリーを一般に広報すること、など、クラブの運営に関わるものを指します。

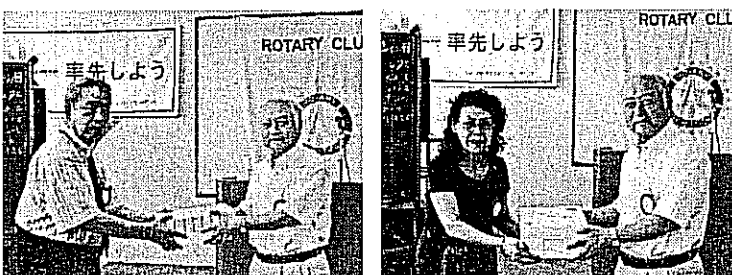
「職業奉仕」：ロータリーの第2奉仕部門。その目的には、事業および専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくことが含まれます。職業奉仕は、クラブと会員両方の責務です。クラブの役割としては、クラブ会員の手腕を生かして、社会のニーズに応えられるようなプロジェクトを開発することが含まれます。一方、クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に則って、自らと自分の職業を律し、併せてクラブが開発したプロジェクトに応えることです。「四つのテスト」には、職業奉仕の精神が生きています。

「社会奉仕」：ロータリーの第3奉仕部門。地域に居住する人々の生活の質を向上させるために、地元社会のニーズに応じて、ロータリアンが行う各種の活動です。例えば、青少年のためにサッカー教室や野球教室を開催したり、植樹、図書館に本を寄贈する、老人ホームや児童養護施設の訪問、などですが、それぞれの地域のニーズによってさまざまな活動があります。

「国際奉仕」：ロータリーの第4奉仕部門は、ロータリアンが国際理解、親善、平和を推進するために実施できることすべてが含まれます。その方法は、他国の人々、その文化、観衆、業務、抱負、問題を知ることであり、また、旅行や国際大会出席による個人交流であり、読書や文通であり、さらに他国の人々の役に立つクラブの活動やプロジェクトすべてに協力することです。国際奉仕も、クラブと会員両方の責務です。この奉仕が目指していることは、ロータリーの綱領第4項「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること」にあります。

（「ロータリーの友」2006年6月号 基本の樹より抜粋）

2005～2006年 皆出席者表彰



出席率100% 出席者20名
（小村益造会員はホーム
クラブ100%出席）でした。